

人口	486,127人	(-148)
男	236,305人	(-69)
女	249,822人	(-79)
世帯数	179,334	(+31)

住民基本台帳による。()は前月比

平成9年 3月30日

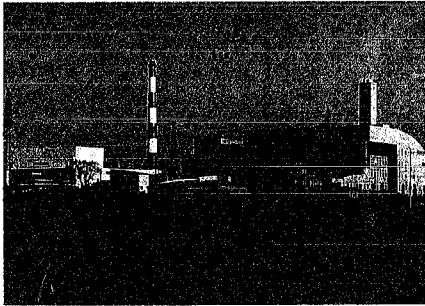
第1570号

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 千951 編集 総務部広報課 印刷 調第一印刷所

にいがた



ごみの再資源化も推進 新亀田焼却場が本格稼働



右側の建物が新焼却場(写真上)、再資源化を図る粗大ごみ処理施設

新潟市と近隣三町で構成する新潟地区広域清掃事務組合で建設を進めてきた新亀田焼却場が完成。試験運転を経て、四月から全市一斉で実施されるごみ分別収集に併せて本格的に使用開始になります。

新亀田焼却場は新潟市、亀田町、黒埼町、横越町の焼却場を統合し、燃えるごみと粗大ごみを処理する焼却場で、旧施設の隣接地約二万八千平方メートルに、総事業費約二百六十三億円を投じ、ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設を併設する。

ごみ焼却施設は、三つの焼却炉で、一日最大三百九十トンを処理。焼却時に発生する熱を最大限に回収し、冷暖房や給湯などの設備に供給します。また五千百ワットの発電装置を備え、施設内の電力をまかなうとともに、余剰電力は電力会社にも売却するなど、焼却熱の有効利用を図ります。

粗大ごみを破砕し、焼却と再資源化を図る粗大ごみ処理施設ではごみ資源化を図ろうと、破砕後のごみを選別する機械を設置。鉄やアルミニウムを回収し、資源の再利用化により積極的に行います。粗大ごみ処理施設の処理能力は、一日約五十トンを焼却し、併設

すことで、周辺の景観との調和を図っています。

焼却熱を有効利用

4月から
全市一斉6分別収集
※3・4面に
清掃特集を掲載

広報誌「ひろば」が完成

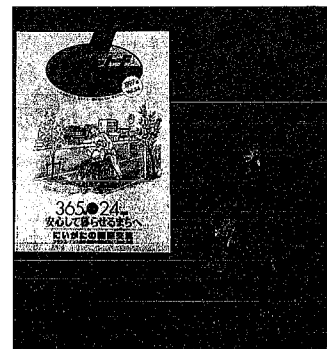
在宅福祉サービス特集

「三百六十五日、二十四時間安心して暮らせるまち」と題し、本市の在宅福祉活動を中心に、広報誌「ひろば」が完成。希望者に差し上げていきます。

同誌では、昨年十月から開始した二十四時間の介護サービスをドキュメント風に紹介します。さらには、「地域の輪」として、各地区で活躍するボランティアや介護老人ホームなどの福祉施設を紹介しています。

「美しい新潟」は、新潟の美しい自然や風土、歴史を写真で紹介する「美しい新潟」の第十一号が完成。きょう三十日全戸に配布します。

「美しい新潟」は、新潟の美しい自然や風土、歴史を写真で紹介する「美しい新潟」の第十一号が完成。きょう三十日全戸に配布します。



完成した広報誌「ひろば」(左)と「美しい新潟」

4月からの新しい組織

4月1日から市役所の組織が変わります。主なものは次の通りです。

旧	新	場所
交通防炎課	防炎課	本館3階
(新設)	交通安全対策課	第1分館4階
(新設)	市場整備推進課	第1分館1階
(新設)	総合企画課 フードサービス管理課	本館5階
鳥屋野地区保健センター	南地区保健センター	南地区センター内(新和)
(新設)	生涯学習課 福祉・歴史博物館建設室	第2分館2階
(新設)	西新潟市民会館	小針2丁目

※文化振興課・市芸術文化振興財団は第2分館6階へ移ります。

市役所・市教育委員会
☎228-1000 (代表)

園芸センター	286-1034
水道	266-9311
市民病院	241-5151
市民保健所	243-5311
石山地区保健センター	286-4450
南地域保健センター	285-2373
3月31日まで鳥屋野地区保健センター	
北地区保健センター	259-7332
西保健所	266-5171
西地区保健センター	262-3405
坂井輪地区保健センター	260-3255
緊急診療(市医師会・歯科医師会)	
緊急診療センター	228-2822
休日歯科診療センター	283-3030

電話番号案内

市福祉公社 ホームヘルパー(男・女)募集

試験日 四月二十七日
試験会場 中央公民館
採用期間 七月一日
業務内容 高齢者や障害者などの家庭で、食事・排せつ・入浴介助などを行う

受験資格 昭和三十七年四月二日以降昭和五十二年四月一日までに生まれ、高校生以上の学歴を有する人(男女を問いません)

試験内容 一次：筆記試験
二次：一次試験合格者を対象に面接試験

申込期間 所定の申込用紙宛て先を誓いたもの(を)を同封し送付してください

お問い合わせ 市福祉公社
☎228-1000

の道一筋 ⑦

芸妓 田邊初枝さん(68歳、西堀通6)



芸妓の道に入り50年余り。産業た昨年などに多大の功績のあった人に贈られる市長表彰を受賞。

奥深い芸の道

取材場所の三業会館(西人です。田邊さんの芸名は「小それ」の道に入り、学校に通いながら稽古に打ち込みながらしむ田邊さん。堀と柳が調和した、情緒豊かな昔の吉門を彩った芸妓さんの一

入っていない」とよく怒られました」と当時を振り返る。小それの道は、三味線や太鼓など、芸妓では踊る人を「立方」、三味線や太鼓などを演奏する人を「地方」といって、お座敷は客によってその都度異なるため、常に趣向を凝らしたものを考へなくてはなりません。また昔の芸妓さんは、背中の中心まで伸ばした髪を結んでいたため、準備にも時間が掛かったそうです。何度お座敷に入っても緊張するという田邊さん。芸について「やればやるほど奥が深い。これで満足というのは死ぬまでないでしょう」と笑顔で話します。

マリニピア日本海
市民家族割引券

この券でご来館の家族全員の入館料を2割引といたします

大人	1,500円→1,200円
小人(小中学生)	600円→480円
幼児(4・5歳)	200円→160円

有効期間 平成9年3月30日～平成10年3月31日
新潟市